



Sunday
1/22

「自分の地域は、自分たちで守る」 自主防災組織で防災訓練が行なわれました



▲真剣に訓練に取り組む岸川区のみなさん

岸川地区で岸川区防災会の防災訓練が行われ約80人が参加しました。訓練内容は、住宅用火災警報器の学習および消火器による消火訓練、土砂災害に対する学習でした。地区内の危険箇所などを班ごとに確認や協議を行いながら、マイ防災マップづくりにも着手され、最後に非常食の簡易な炊き出し訓練も行なわれました。

参加者は熱心にそれぞれの訓練に取り組まれていました。出席した市防災安全課からは「減災対策には地域ぐるみの協力体制が必要です。今後も継続した取り組みをお願いします」と話しました。2月には大字納所防災会、砂原区自主防災会、自由ヶ丘区防災会でも防災訓練が実施されました。

Wednesday
1/25

行方不明者捜索に協力 多久市消防団と古川さんに感謝状

小城警察署は、行方不明者の発見・保護に寄与したとして、多久市消防団と古川亮介さん（南多久町）に署長感謝状を贈りました。

多久市消防団は、昨年11月と今年1月に北多久町で発生した行方不明者捜索に出動。昨年11月の際に対象者の発見・保護に寄与されました。

また、古川さんは、今年1月に多久町で発生した行方不明者捜索の際、市の防災行政無線を聞き、路上を歩行していた対象者を発見・保護に寄与されました。

▼表彰された多久市消防団陣内成和（左）と古川亮介さん（右）



Saturday
1/28

「多久ふえす」で池田学展を応援！ 佐賀県立美術館前北側広場で「多久ふえす」が開催されました



▲池田さんと多久翁さん

▲多久ふえすの様子

「多久ふえす」は、1月20日から3月20日まで佐賀県立美術館で開催されている、多久市出身の画家「池田学」さんの個展、「池田学展 The Pen -凝縮の宇宙-」を応援し、多久市の魅力をPRする目的で、「多久ふえす実行委員会」が開催したイベントです。

イベントでは、多久市のPRムービーの上映、多久聖廟巨大絵馬の出張設置、釈菜の衣装を着ての記念撮影、竹はし作り体験、ぜんざいのふるまい、フードコーナーなどが用意されました。

また、会場には池田学さんも登場し、ファンとの写真撮影や昼食を楽しみ、会場内は大きな賑わいを見せていました。